

令和7年
2025年

6月4日
水曜日

第11725号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料（前納）
年間 82,080円
（税込み）
6カ月 42,120円
（税込み）

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10
TEL03-6206-0929 FAX03-6206-0928

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



日冷倉が第52回定時総会を開催した……P4

- ▶ 4月の牛肉輸出は前年比23・2%増、最大輸出先は台湾…………… P 2
- ▶ 日本ハムが中元ギフト発表会を開催①…………… P2～3
- ▶ 神戸中畜が株主総会開く、集荷では牛・豚枝肉ともに増頭を果たす…………… P 3
- ▶ [畜産物卸売価格・5月]和牛去勢A4価格は前年同期比144円高…………… P 4
- ▶ 日冷倉が第52回定時総会開催、浜田晋吾会長が退任…………… P 4
- ▶ [訃報]米米祐（神戸食肉市場協同組合・元理事長）逝去…………… P 5
- ▶ ブラジル、商業用家禽飼養施設で高病原性鳥インフルエンザが発生…………… P5
- ▶ 涼メニューの提案にも注力—伊藤ハム米久HDが夏ギフトを発表②…………… P6
- ▶ [ソーセージ輸入4月]計2726tで7・4%増…………… P7
- ▶ [鶏肉調製品輸入4月]計4万3306tで3・0%減… P7
- ▶ 【輸入副生物現物相場】梅雨入りで外食向けも低調、相場は弱もちあい…………… P8
- ▶ [資料]畜産物卸売価格の推移…………… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]3日…………… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]3日… P11

注目のヘッドライン

4月の牛肉輸出は前年比23・2%増、最大輸出先は台湾

財務省貿易統計によると4月の国産牛肉輸出量は959t（前年同月比23・2%増）と、前年同月を上回り、前月比では1・6%減少した。

…詳細はP2

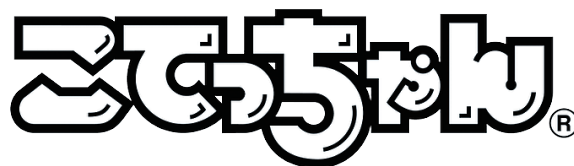
日本ハムが中元ギフト発表会を開催①

…詳細はP2～3

食の感動体験を創造することで
世界中の人々と食をつなぎ続ける



<https://www.starzen.co.jp/>



<https://www.sfoods.co.jp/>

4月の牛肉輸出は前年比23・2%増、最大輸出先は台湾

財務省貿易統計によると4月の国産牛肉輸出量は959t(前年同月比23・2%増)と、前年同月を上回り、前月比では1・6%減少した。

輸出先国は合計36カ国・地域で、国別にみると台湾が最も多く249t。次いで、香港、カンボジア、米国、タイ、マレーシア、シンガポールと続く。表記以外のそ

の他の国はオランダ、ドイツ、英国、豪州、イタリアなど。4月分輸出額は59億199万円(14・0%増)となり、キロ当たりの輸出単価は6152円。輸出内訳は冷蔵488t(10・3%増)、冷凍472t(40・0%増)。金額ベースは冷蔵が前年比6・2%増、冷凍が25・3%増。

2025年4月の牛肉輸出状況

単位:kg、円、%

	香港	米国	カナダ	カンボジア	マカオ	シンガポール	タイ	台湾	その他国	合計
	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計	合計		合計
2024年計	1,457,988	2,138,636	95,635	901,317	199,869	545,818	711,601	2,094,296	1,967,917	10,113,077
前年比	95.9%	187.2%	108.9%	79.6%	140.6%	100.3%	150.0%	123.8%	116.8%	120.1%
2024年4月	119,742	102,543	5,601	95,206	15,243	39,566	63,942	210,433	126,716	778,992
5月	95,420	90,606	7,563	25,478	15,103	41,019	26,046	137,164	114,502	552,901
6月	101,840	104,383	7,050	63,414	15,164	43,356	64,800	184,507	187,379	771,893
7月	126,184	84,567	9,772	53,919	10,297	45,565	44,538	186,096	186,915	747,853
8月	96,559	114,269	5,361	59,356	21,576	41,357	84,125	201,243	140,972	764,818
9月	148,383	159,276	5,669	82,831	14,282	41,270	100,588	180,022	188,821	921,142
10月	134,727	139,379	13,220	34,092	25,847	45,898	64,294	162,626	189,009	809,092
11月	172,858	151,958	7,838	88,228	22,207	56,168	85,096	173,067	173,693	931,113
12月	152,180	761,518	8,626	184,950	23,980	71,045	60,650	256,098	247,758	1,766,805
2025年1月	88,177	183,936	6,208	63,914	22,094	24,068	65,415	83,921	100,038	637,771
2月	124,384	90,621	8,811	84,846	5,452	43,563	50,149	192,993	148,769	749,588
3月	139,718	117,362	5,027	140,332	14,716	40,858	87,715	221,768	207,745	975,241
4月	149,618	94,974	10,099	117,592	18,538	48,917	71,980	249,251	198,397	959,366
前年同月比	125.0%	92.6%	180.3%	123.5%	121.6%	123.6%	112.6%	118.4%	156.6%	123.2%
kg単価(円)	4,778	7,196	9,512	7,323	6,617	6,453	5,419	5,250	7,104	6,152
2025年累計	501,897	486,893	30,145	406,684	60,800	157,406	275,259	747,933	654,949	3,321,966
前年同期比	116.8%	91.4%	98.7%	131.6%	118.3%	98.3%	151.7%	121.9%	121.5%	116.7%

日本ハムが中元ギフト発表会を開催①

日本ハムは2日、大阪市北区の本社で中元ギフト発表会を行った。会見には山岸昌隆加工事業本部マーケティング統括部ギフト企画室長(写真左)、藤元優希加工事業本部マーケティング統括部マーケティング室長(写真右)らが出席した。

冒頭、藤元室長がギフト市場全体の傾向について次のように説明した。

ここ数年のギフト市場は伸長傾向(年率1~3%)で推移している。ただし、個人ギフトや法人ギフトが伸びており、中元・歳暮といったシーズンギフトは減少傾向にある。個人ギフトでは誕生日や結婚記念日、母の日や父の日などのカジュアルギフト、年賀、成人、進学、卒業、結婚、出産などのフォーマルギフトが伸びている。また、法人ギフトでは記念品やノベルティーなどのギフトが伸びている。

昨年の中元市場を振り返ると、全体の贈答件数は



前年比94%、金額は95%で、マーケットとしては縮小している。ただ、前年と比較すると金額の下落幅は縮小傾向にある。また、贈答世帯率は下落傾向だが、平均贈答金額は前年を維持しており、上質なものをギフトに選ぶ傾向にあることがわかる。カテゴリー別の状況では、生鮮品、調理加工品、酒類などの減少が続く、菓子類のみ増加が続いている。

価格帯別の状況では、3千～5千円の中価格帯の構成が減少し、6千円以上の高価格帯のギフトの構成比が若干伸びている。なおギフトの平均単価は市場全体が4293円(前年比43円増)、ハム・ソーセージが4369円(79円減)となっている。ユーザーの年代調査では、引き続き60～70代の構成比が58・6%(0・2ポイント増)と最も多く、構成が少ない20代で1・9%(0・1ポイント増)、30代で7・6%(0・1ポイント増)と若年層は減少に歯止めが掛かり、増加に転じる兆しをみせている。仮説段階ではあるが、新社会人が両親や親戚にギフトを贈るといったシーンが増えているのではないかと考えられる。

また、ギフトの購入の決め手として、「いつも同じものを贈ると決めている」という人が多い傾向にあるが、特にもらい手の好みが変わり、感謝されたり良い反応が得られたものは引き続き選ばれている。一方、贈答品



の内容を変更するのは20～30代の若者に多いため、若年層のニーズを捉えた展開も重要となっている。

ユーザーへのアンケート調査によると、ハム・ソーセージギフトは普段食べている食品であるため、使い勝手が良い上に、食品スーパーなどでは買えない上質な商品であることから「特別感」のあるギフトという点が支持されている。(連載続く)

神戸中畜が株主総会開く、集荷では牛・豚枝肉ともに増頭を果たす

神戸中央畜産荷受(株)は5月30日、第60期株主総会を開催した。事業報告として、牛枝肉は、各集荷団体との定期的な集荷会議の実施、既存出荷先への同行巡回などを行い情報共有を図り、各集荷団体との連携強化に努めた他、地元兵庫県や各地域を対象とした品評会を開催。これにより2024年度は1万2526頭(前期比4・8%増)と増頭を果した。

豚枝肉は、入荷元である「神戸ポーク」、「三田ポーク」のブランド強化に取り組んだ結果、1万5775頭(5・7%増)と増頭した。牛肉手数料は、好調な相場に支えられ8・2%増、豚枝肉についても好調な相場により15・9%増となった。

今後も安定した頭数確保と牛・豚加工事業の扱い拡大を目指すとし、人材確保にも注力。加えて経費の節約と機動的経営に努めるとしている。

また、今期は市場開設・同社設立60周年を迎える。これを受けて記念式典および記念共進会の開催を計画している。

総会後に開かれた懇親会では、丸橋弘資社長(写真)が関係者に謝辞を述べた後「食肉を取り巻く環境は、飼料価格の高騰や人材不足など厳しい状況にある。逆風が吹く中で、昨年を上回る集荷ができたこと

はありがたい。中央市場の名の下、しっかりと適正価格で販売でき、市民に貢献できることが使命。若手の生産者も多く、購買者も2代目、3代目がいる。市場従事者も若手の職人が多く、弊社も若手社員が多くいる。若手人材がそろう中で、70周年に向けて重要な10年間と思っている。特に重要なのは市場の建て替え。簡単なことではないが、70周年に向けて新しいビジョンを掲げていく」と強調した。懇親会には、行政・業界関係者合わせておよそ80人が出席した。



取締役の辞任に伴う取締役2人を新たに選任。役員は次の通り。

代表取締役社長・総括 丸橋弘資▷専務取締役・総務 清水義一(新任)▷同(常務取締役)・業務・営業 三谷康彦▷取締役・管理 水谷浩之▷取締役・社外 大畑公平、古賀満(新任)、平井良幸、玉野井俊明▷監査役・社外 福本吉宗、堂本英之、上田訓弘

【畜産物卸売価格・5月】和牛去勢A4価格は前年同期比144円高

農水省食肉鶏卵課がまとめた5月の畜産物卸売価格の推移(9面参照)によると、豚の全国と畜頭数(速報値)は130万6300頭(前年同月比4・0%減)となった。豚肉「極上」「上」の価格は東京が661円(55円安)、大阪が705円(3円安)。成牛のと畜頭数は8万3220頭(5・5%減)となり、東京では和牛去勢A4価格が2266円(144円高)、交雑牛B3が1625円(44円高)となった。

[豚]全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が5万3014頭(2・2%減)、中旬が6万3857頭(17・3%増)、下旬が6万1025頭(0・1%減)。東京の価格は

上旬が608円(56円安)、中旬が652円(23円安)、下旬が710円(78円安)で、大阪は上旬が766円(92円高)、中旬が715円(14円高)、下旬が673円(95円安)となった。

[牛]全国の1日当たりの平均と畜頭数は、上旬が3108頭(16・4%増)、中旬が4660頭(17・9%増)、下旬が3994頭(1・8%増)。東京の和牛去勢A4価格は上旬が2310円(154円高)、中旬が2289円(139円高)、下旬が2224円(143円高)となり、交雑牛去勢B3価格は上旬が1638円(40円高)、中旬が1652円(40円高)、下旬が1597円(47円高)となった。

日冷倉が第52回定時総会開催、浜田晋吾会長が退任

一般社団法人日本冷蔵倉庫協会は2日、東京都内で第52回定時総会を開催し、令和6年度事業報告および決算承認などの上程議案を承認。このほか、7年度事業計画および収支予算を報告した。また、任期満了に伴う役員改選では、浜田晋吾会長(上写真)の退任に伴い、新会長に大櫛頭也氏が選任された。

冒頭、浜田会長は「協会活動については、今年は物流業界が大変注目された年となった。その発端となったいわゆる2024年問題については、これまでのところ当協会として特段大きな問題は発生しないと理解しているが、時間が経過すれば問題が顕在化してくるのかもしれない。われわれにとって、まずは現場の実態に即した形で、改正物効法への対応を急ぐことが肝要だ」とした上で、人手不足対策に対する外国人特定技能制度の分野追加、フロンの自然冷媒化の補助金に対する展望を示した。

7年度事業計画については、冷媒倉庫の需要が物価高による出庫の不調により大都市を中心に在庫が高い状況であるため、今後の消費回復に向けて、動向を注視していくとし、この他、設備老朽化対策、自然冷媒使用促進、電力問題、人材確保と教育・省力化、コストの適正な転嫁などに対応していく。

退任のあいさつでは、「委員会で皆さんが一生懸命議論されている姿をみて、この姿勢が続けば冷蔵倉庫業界はこれからもまい進していこうと思いを強く



した。今後は荷主側に立って、倉庫業界、物流業回のために尽くしていきたい」と述べた。

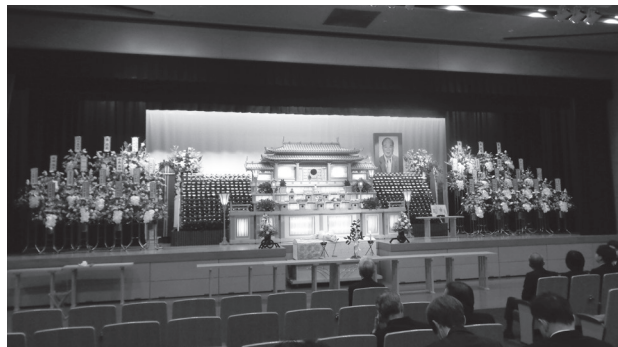
なお、新役員の体制は次のとおり。

[会長]大櫛頭也(新任)[副会長]田中一範▷梅澤一彦▷新藤哲也▷武田信一郎▷中井宏▷小門賢一▷古瀬健児▷福田肇(新任)▷高田直幸(新任)[理事長]土屋知省

【訃報】米米祐（神戸食肉市場協同組合・元理事長）逝去

元・神戸食肉市場協同組合理事長で、食肉専門店(祐伸開発マルヨネ(神戸市長田区))の前社長である米米祐(よね・よねすけ)氏が5月27日、かねてより病氣療養中のところ死去した。96歳。通夜は30日、告別式は31日に神戸市兵庫区の平安祭典神戸会館で行われた。喪主は子息の米政伸氏(祐伸開発マルヨネ社長、兵庫県食肉公正取引協議会会長)

通夜・告別式には親族の他、食肉業界関係者が多数参列した。喪主の政伸氏は「父はかつて、少年兵として志願して戦地に赴いた。広島に就いたが、沖縄戦に向かっていったことから原爆から逃れ、補給地で終戦を迎えたことから沖縄戦に赴かなかった。こうした強運や力強い生命力が長命につながる原動力だったと思う。また、戦後に、食肉に関わる皆さまとの厚情のた



まもので長く楽しく生きられた。幸せだったと思う」と参列者に謝辞を述べた。

業界内でも広い交友関係を持ち、人当たりの良さ、誠実な性格で信頼を寄せられていたことから、多くの相談に乗るなど要職を務めた。自社店舗では高齢になって以降も店頭に立ち、顧客との交流に注いだ。

ブラジル、商業用家禽飼養施設で高病原性鳥インフルエンザが発生

ブラジル農牧供給省(MAPA)はこのほど、同国南部のリオグランデ・ド・スル州モンテネグロ市の家禽飼養施設で高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の感染が確認されたことを公表した。同国では、23年に初めてHPAIの感染が野鳥及び裏庭養鶏における家禽で確認されたが、商業用の施設で確認されたのは今回が初めてとなる。MAPAは感染の封じ込めと終息に向けた措置を開始しており、5月21日時点で、既に対象

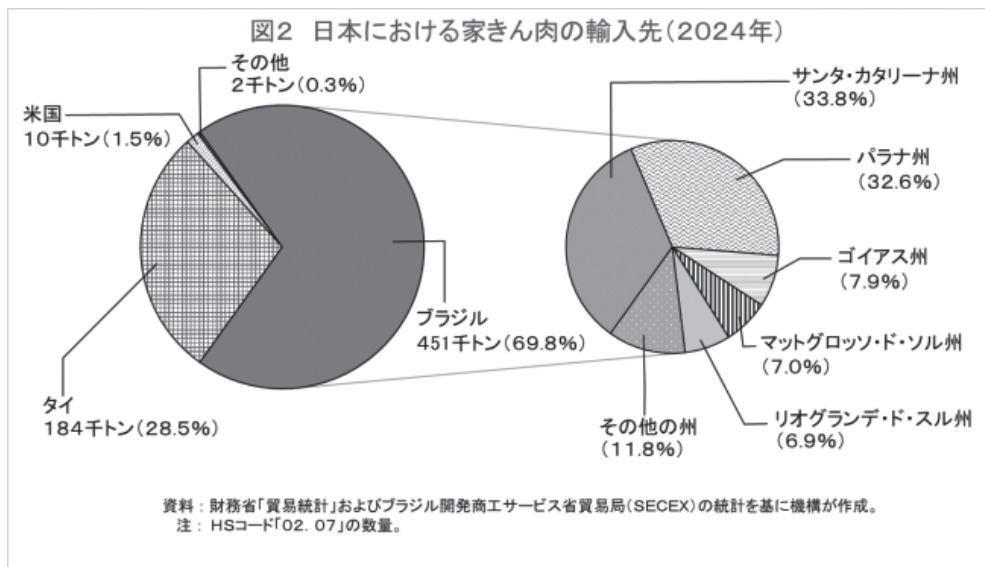
施設の全ての家禽と卵の処分および施設全体の清掃と消毒作業が完了している。なお、MAPAは、家禽肉や卵の摂取によって人へ感染することはないことを周知している。

また、現地情報誌によると、5月15日時点で、同州にある動物園で2例目の感染が確認された。

HPAIの感染確認に伴い、中国およびEUは、同国からの家禽肉などの輸入を停止した。また、日本も同国

リオグランデ・ド・スル州からの生きた家禽、リオグランデ・ド・スル州モンテネグロ市からの家禽肉、食用生鮮殻付卵などの輸入一時停止措置を講じている。

ブラジルは世界最大の鶏肉輸出国であり、日本にとっても最大の輸入先となっており、今後の状況が注目される(図)(農畜産業振興機構)



涼メニューの提案にも注力—伊藤ハム米久HDが夏ギフトを発表②

(前号の続き)伊藤ハム米久ホールディングスが5月30日に行った2025年夏ギフト発表会での、橋本寛加工食品事業本部マーケティング部ギフト企画室長(上写真)による、ギフト各ブランドの商品に関する説明の概要は次の通り。

【伝承】前中元で「ブロック&スライスセット」を投入し、中元、歳暮共に好評を得た。即食、使い切りできるという利点があるスライスパック、好きな厚みにカットでき、ギフトらしい重厚感や高級感のあるブロックという組み合わせが支持されている。今中元も4千円、8千円でラインアップしている。

【伝承献呈】冷製メニューのニーズを受けて、新商品として「低温真空調理ローストビーフ250g(オリーブオイルドレッシング60ml)」「特選ロースハムスライス」を投入する。オードブルの提案にも適しており、伝承シリーズでも好評なブロック&スライスの組み合わせ商品も展開する。また、「うす塩仕上げ」シリーズで最も魅力的な商品である「特選ロースハム」のグラム数を320gから360gへとアップさせている。

【伝承の味】暑い夏場に煮込み料理の調理は避けたいところ。そこで、「豚肉のしょうが煮」「牛肉と蓮根の甘辛煮」という料理品2品を投入する。しょうが煮は、豚バラ肉をしょうゆベースのタレで煮込み、しょうがのみじん切りでアクセントを付けた。甘辛煮は牛肉とれんこんをしょうゆベースの甘辛いタレで炊いた。れんこんを加えることで軟かい肉と対照的なシャキシャキ感が生まれ、食べ応えがある。

【至福の和食 『賛否両論』】笠原将弘氏監修の和食シリーズに、つくねの入った汁物「笠原流つくね汁」を新発売する。これにより、同シリーズでは主菜・副菜・汁物がそろい、あとはご飯を用意するだけという満足感あるセットとなった。新商品は昆布エキス、かつお節、あごなどを使用したつゆに、ゆずを加えた香り豊かな鶏つくねの汁物。鶏肉のつくねは、鶏ミンチ肉にクワイを混ぜており、食感も楽しめるように仕上げた。れんこんとしいたけも加え、具材感のある商品となっている。また、涼メニューでは、新たに「蒸し鶏の柚子出汁餡150g」を発売。鶏ムネ肉を使用し、昆布エキスとあごダシにゆず皮を加え、あん仕立てにしている。ゆずの



さわやかな香りとダシのおいしさを感じる1品となっている。

【至福の洋食 田崎真也セレクション】田崎真也氏監修の洋食シリーズに、「完熟トマトとオリーブのパンネ200g」「ニョッキ かぼちゃソース200g」を投入する。既存アイテムの4種のチーズピザ、エクストラバージンオイルを使用した豚カタロースのオリーブオイル煮、8種野菜が入ったミネストローネなどと合わせ、イタリアンメニューが家庭で手軽に楽しめる。また、冷やして食べてもおいしいスープセットには、新たに「枝豆のクリームスープ170g」をラインアップしている。

【母の日・父の日ギフト】また、中元以外でもカジュアルギフトの展開として、「至福の和食『賛否両論』」の和総菜セット、「至福の洋食 田崎真也セレクション」のスープセットを販売している。シーズンギフト市場は虚礼廃止の流れがある中、両親や親族など近い間柄での贈答は堅調に推移していると思われ、日頃の感謝の気持ちを伝えるギフトとして提案する。(連載続く)

[ソーセージ輸入 4月] 計 2726 t で 7・4%増

4月のソーセージ輸入通関実績は計2726t(前年同月比7・4%増)で増加となり、前月比では46t減となった。国別ではブラジルが776t(50・1%増)、中国

が557t(34・7%増)と前年を上回ったが、米国は644t(16・9%減)、タイは514t(0・4%減)、デンマークは65t(58・3%減)で減少した。

ソーセージ輸入量の推移

単位：トン、カッコ内前年比%

	中国	タイ	米国	ブラジル	デンマーク	合計
2022年計	5,610(91.7)	7,066(106.9)	6,321(88.3)	6,422(174.6)	1,347(114.3)	28,444(106.2)
2023年計	5,104(91.0)	6,721(95.1)	6,470(102.4)	4,544(70.8)	1,230(91.3)	25,580(89.9)
2024年計	5,162(101.1)	5,975(88.9)	6,637(102.6)	5,730(126.1)	1,197(97.3)	26,196(102.4)
2024年4月	414(80.4)	516(102.6)	776(150.4)	517(129.3)	155(72.1)	2,539(110.5)
5月	464(132.2)	502(132.8)	647(143.8)	349(94.3)	134(108.1)	2,192(125.2)
6月	401(96.9)	490(76.8)	632(102.9)	516(113.9)	72(64.9)	2,232(93.0)
7月	439(108.7)	577(91.0)	619(106.4)	432(84.9)	160(118.5)	2,404(101.2)
8月	474(92.8)	451(89.5)	493(60.8)	629(147.7)	133(102.3)	2,351(92.4)
9月	468(100.9)	499(88.0)	450(88.8)	516(145.4)	83(180.4)	2,104(101.7)
10月	400(75.2)	634(110.5)	490(88.9)	692(163.6)	37(63.8)	2,384(106.8)
11月	491(130.2)	400(71.7)	570(113.1)	663(235.9)	101(69.7)	2,325(114.8)
12月	567(115.7)	396(61.1)	677(104.6)	383(123.2)	166(190.8)	2,343(102.3)
2025年1月	576(169.9)	357(79.7)	389(113.7)	422(140.2)	112(533.3)	1,990(128.3)
2月	296(83.2)	488(87.9)	381(90.0)	643(197.7)	126(212.5)	2,036(114.0)
3月	516(147.6)	570(112.5)	647(125.0)	842(206.9)	54(70.4)	2,772(139.6)
4月	557(134.7)	514(99.6)	644(83.1)	776(150.1)	65(41.7)	2,726(107.4)

[鶏肉調製品輸入 4月] 計 4万 3306 t で 3・0%減

4月の鶏肉調製品の輸入通関実績は、計4万3306t(前年同月比3・0%減)と前年を下回った。前月からも231t減少した。国別ではタイが2万5048t(7・5%

減)と減少。中国は1万6940t(0・9%増)と増加した。そのほか韓国が38t(74・9%減)、ブラジルが19t(48・8%減)となった。

鶏肉調製品輸入の推移

単位：トン、()内は前年比%

	中国	タイ	ブラジル	韓国	米国	フィリピン	合計
2022年計	192,373(109.3)	326,751(109.3)	1,925(110.6)	1,028(93.3)	117(55.8)	33(71.4)	525,762(109.4)
2023年計	173,673(90.3)	297,810(91.1)	558(29.0)	1,201(116.8)	100(85.5)	0(-)	477,983(90.9)
2024年計	187,156(107.8)	307,850(103.4)	490(87.8)	1,081(90.0)	57(57.2)	-(-)	503,188(105.3)
2024年4月	16,788(114.1)	27,086(109.6)	38(100.0)	150(385.2)	0(-)	-(-)	44,648(111.9)
5月	14,034(113.5)	26,117(115.2)	38(99.6)	65(206.2)	-(-)	-(-)	40,776(115.0)
6月	15,546(100.1)	26,467(111.2)	19(100.0)	23(52.2)	14(-)	-(-)	42,605(107.2)
7月	19,023(127.4)	27,823(116.0)	94(123.7)	33(116.4)	-(-)	-(-)	47,452(120.2)
8月	14,464(99.9)	24,641(96.7)	38(100.0)	60(165.2)	-(-)	-(-)	39,797(98.6)
9月	16,795(112.3)	22,519(88.9)	56(892.6)	65(82.7)	14(-)	-(-)	39,880(97.7)
10月	17,078(114.2)	29,949(118.2)	76(-)	135(170.6)	-(-)	-(-)	47,902(117.4)
11月	18,464(117.7)	27,000(96.5)	-(-)	119(57.3)	14(-)	-(-)	46,192(104.1)
12月	17,440(105.6)	27,278(101.2)	19(13.6)	209(205.5)	-(-)	-(-)	45,580(102.9)
2025年1月	13,978(84.6)	23,775(88.2)	38(27.3)	109(107.2)	-(-)	-(-)	38,628(87.2)
2月	10,522(79.5)	22,713(104.6)	19(24.7)	27(29.1)	-(-)	-(-)	33,788(94.7)
3月	16,674(126.1)	25,989(106.2)	99(521.2)	32(56.4)	14(100.0)	-(-)	43,537(113.6)
4月	16,940(100.9)	25,048(92.5)	19(51.2)	38(25.1)	-(-)	-(-)	43,306(97.0)

【輸入副生物現物相場】梅雨入りで外食向けも低調、相場は弱もちあい

例年通りの動きではあるが、GW明けから荷動きは鈍い。また、今週から天候が崩れ、梅雨入りの気配も強まっておりインバウンドでにぎわってきた地域においても、外食向けの引き合いも低調。下旬までは大きな動きはないと見込まれるが、安い焼き材の玉は需要期に向けて早めの手当てに動く企業も出てくると予想され、投げ物が多く出ることはないか。

鶏肉も大きく相場が上がっており、量販店のフェー

スでは値頃感あるアイテムが減少。白物は焼き材、つまみ需要の加工商材として手軽な商材として使いやすく、引き合いは底堅い。

いずれにせよ、各社の在庫水準はそれほど高くなく、供給も絞れていることから需給は均衡しており、下値は限定的。相場は中旬まで弱もちあいで推移するも、下旬からは夏場に向けて焼き材中心に上値追いの展開になると見込まれる。

輸入副生物現物相場

単位:円/キロ、税抜き

	商品名	原産地	規格	価格	気配
フ ロ ー ズ ン	牛タン	米国		2500~2600	→
		豪州	グラス	2100~2200	→
		欧州	グラス	1950~2050	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス プライム	2000~2100 -	↑ -
		メキシコ		1800~	→
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	3100~3300 -	↑ -
		メキシコ		-	→
	シンスカート、シックスカート	豪州	バルク	1200~	↑
	シンスカート(皮なし)	豪州		1500~	→
	レバー	豪州 米国		320~ 350~	→
	トライプ	-	1.5UP	-	→
		豪州	700gUP 500gUP	- -	→ →
	スモール	米国		500	→
	ラージ	米国		650~700	↑
		豪州		680~720	→
アキレス	米国		1200	→	
テール	豪州		1000~1400	→	
メンブレン	豪州		600~	→	
チ ル ド	牛タン	米国		2750~3000	→
		豪州	グレイン	2500~2800	→
	牛タン(ムキタン)	米国		4500~4900	→
		豪州		-	→
	ハンギングテンダー (サガリ)	米国	チョイス	2100~2300	→
			プライム	2400~2500	→
	アウトサイドスカート(ハラミ)	米国	チョイス プライム	3100~3500 3500~	→ -
メキシコ			-	→	

畜産物卸売価格の推移

(令和 7年 5月)
単位：頭数(頭)、価格(円/kg)

	豚肉 極上・上					牛肉			全国と畜 頭数		鶏 東	卵 京	鶏 東	肉 京
	東京		大阪		加重 平均 価格	東京(加重平均価格)			豚	成牛	(M)	もも	むね	
	価格	頭数	価格	頭数		和牛 去勢 A 4	交雑 去勢 B 3	乳用種 去勢 B 2						
6年 4月	614	6,927	584	627	612	2,166	1,605	926	1,408,522	96,546	219	662	374	
6年 5月	716	6,667	708	404	716	2,122	1,581	991	1,360,411	88,038	204	648	368	
上 旬	664	2,366	674	162	665	2,156	1,598	899	54,225	2,669	213	660	370	
中 旬	675	1,650	701	134	677	2,150	1,612	1,014	54,429	3,954	200	650	368	
下 旬	788	2,651	768	108	787	2,081	1,550	999	61,100	3,924	200	639	366	
7年 4月	599	6,292	649	422	602	2,269	1,612	1,185	1,376,271	94,940	334	805	449	
7年 5月	661	5,518	705	278	663	2,266	1,625	1,200	1,306,300	83,220	340	855	501	
上 旬	608	1,513	766	44	613	2,310	1,638	1,163	53,014	3,108	340	851	486	
中 旬	652	1,967	715	112	655	2,289	1,652	1,204	63,857	4,660	340	858	501	
下 旬	710	2,038	673	122	708	2,224	1,597	1,201	61,025	3,994	340	854	511	
1日(木)	617	277	727	5	619	2,342	1,612	-	69,300	2,270	340	845	476	
2日(金)	598	390	-	-	598	2,306	1,643	-	59,400	1,750	340	852	485	
3日(土)	597	244	-	-	597	-	-	-	-	-	-	-	-	
4日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
5日(月)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6日(火)	-	-	-	-	-	-	-	-	28,700	980	-	-	-	
7日(水)	-	-	-	-	-	2,235	1,620	-	66,900	4,850	340	-	-	
8日(木)	606	301	777	30	621	2,305	1,607	-	69,600	4,190	340	845	484	
9日(金)	625	301	750	9	629	2,325	1,655	1,163	67,100	4,610	340	852	489	
10日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	10,100	-	-	860	495	
11日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12日(月)	623	214	758	26	638	2,278	1,646	-	63,500	5,030	340	858	493	
13日(火)	657	328	-	-	657	2,304	1,654	-	65,500	4,770	340	854	499	
14日(水)	667	223	683	35	669	2,309	1,679	-	62,900	4,880	340	-	-	
15日(木)	649	307	705	10	651	2,309	1,664	1,201	64,300	4,130	340	854	494	
16日(金)	651	304	683	6	652	2,298	1,670	-	62,100	4,380	340	860	501	
17日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	862	502	
18日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
19日(月)	651	239	724	35	660	2,241	1,619	1,206	63,700	4,780	340	858	506	
20日(火)	657	352	-	-	657	2,259	1,610	-	65,000	4,650	340	857	513	
21日(水)	690	150	610	42	673	2,245	1,613	1,245	59,300	4,520	340	-	-	
22日(木)	665	318	659	16	665	2,234	1,625	1,161	63,800	3,900	340	854	511	
23日(金)	681	259	-	-	681	2,253	1,585	1,200	60,300	3,680	340	856	515	
24日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
25日(日)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
26日(月)	706	233	755	22	710	2,201	1,595	-	60,900	4,620	340	864	510	
27日(火)	725	229	-	-	725	2,193	1,588	-	63,500	4,070	340	857	516	
28日(水)	751	253	699	39	744	2,237	1,612	-	59,100	3,900	340	-	-	
29日(木)	717	300	691	1	717	2,192	1,609	1,197	62,100	3,310	340	855	515	
30日(金)	744	296	669	2	743	2,218	1,547	1,199	59,200	3,950	340	856	519	
31日(土)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	839	490	

注1) 全国と畜頭数は主要な41と畜場のと畜実績からの推計値
 注2) 当月の価格及び頭数は速報値
 注3) 牛肉の価格は、生体及び搬入の加重平均(全て瑕疵含む)
 注4) 「-」は取引無し
 注5) 卸売価格は、豚肉・牛肉は税込価格、鶏卵・鶏肉は税抜価格

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 6月3日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

◇牛生体		5	4	3	2	1		
和牛	雌 A	高値	2,958	2,278	2,177	-	-	
		安値	2,160	2,015	1,983	-	-	
		平均	2,404	2,176	2,108	1,728	-	
	70頭	頭数	36	23	10	1	-	
	雌 B	高値	-	-	-	-	-	
		安値	-	-	-	-	-	
		平均	-	-	-	-	-	
	-頭	頭数	-	-	-	-	-	
	去 A	高値	3,266	2,375	2,249	-	-	
		安値	2,160	2,052	2,064	-	-	
		平均	2,492	2,200	2,146	1,879	-	
	190頭	頭数	111	56	22	1	-	
去 B	高値	-	-	1,922	-	-		
	安値	-	-	1,836	-	-		
	平均	-	1,989	1,879	1,746	-		
4頭	頭数	-	1	2	1	-		
乳牛	雌 B -頭	平均	-	-	-	-		
	雌 C -頭	平均	-	-	-	-		
	去 B -頭	平均	-	-	-	-		
	去 C -頭	平均	-	-	-	-		
交雑牛	雌 B	10頭	平均	-	-	1,598	1,528	-
		頭数	-	-	-	6	4	-
	雌 C	-頭	平均	-	-	-	-	-
		頭数	-	-	-	-	-	-
	去 B	29頭	平均	-	1,644	1,630	1,528	-
頭数	-	3	8	18	-	-		
去 C	2頭	平均	-	-	1,550	1,473	-	
頭数	-	-	-	1	1	-		

	牛	豚	搬入牛	搬入豚		その他
と畜 売買	406 399	669 850	- 55.5	(競り)	(相対)	- 82

◇牛搬入		5	4	3	2	1
和 雌	A	2,634	1,372	1,557	1,365	-
	B	-	-	-	1,221	-
和 去	A	-	2,230	-	-	-
	B	-	-	-	-	-
乳 雌	B	-	-	-	1,007	1,078
	C	-	-	-	912	903
乳 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-
交 雌	B	-	-	-	1,517	-
	C	-	-	-	-	-
交 去	B	-	-	-	-	-
	C	-	-	-	-	-

◇豚		[極上]	[上]	[中]	[並]	[等外]
生体	高値	853	879	864	816	756
	安値	815	739	734	410	313
	平均	832	812	800	691	506
	頭数	(4)	(279)	(310)	(135)	(122)
搬入 競り	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
搬入 相対	高値	-	-	-	-	-
	安値	-	-	-	-	-
	平均	-	-	-	-	-
頭数	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

[大阪食肉卸売市場] 6月3日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

	5 [極上]	4 [上]	3 [中]	2 [並]	1 [等外]
和 雌 A	2,222	2,005	-	-	-
(頭数)	(17)	(15)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(-)	(-)	(2)	(-)
和 去 A	2,195	1,955	-	-	-
(頭数)	(14)	(15)	(-)	(-)	(-)
B	-	-	-	-	-
(頭数)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)
乳 去 B	-	-	-	1,200	-
交雑雌 B	-	1,679	1,636	1,514	-
C	-	-	1,670	1,514	-
交雑去 B	-	1,762	1,606	1,436	-
C	-	-	-	-	-
豚	-	718	700	640	607

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

	6月3日	6月2日	(6月累計)
豚	63,100	55,100	118,200
成牛計	4,040	4,110	8,150
和牛雌	1,090	900	1,990
和牛去勢	1,180	1,220	2,400
乳牛雌	550	350	900
乳牛去勢	450	470	920
交雑雌	330	380	710
交雑去	440	790	1,230

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 6月3日

東京	1,498円	(前日 1,492円)
大阪	1,521円	(前日 1,652円)

[豚・全農建値] 6月3日

上	中	取引頭数	市況
796円	781円	962頭	急伸

と畜 売買	牛 77頭 牛 102頭	豚 105頭 豚 32頭	牛概況 豚概況	急落 もちあい
----------	-----------------	-----------------	------------	------------

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 6月3日 (1kg当たり円、税込み)

	上加重 (前日)	中加重 (前日)	と畜	上場	市況
北海道 [セ]	680 (670)	- (-)	5,786	-	上伸
仙台 [中]	738 (710)	663 (654)	498	67	続伸
栃木 [地]	- (-)	- (-)	-	-	休市
茨城 [地]	776 (756)	752 (734)	1,049	554	続伸
群馬 [地]	815 (-)	770 (-)	2,700	157	続伸
さいたま [中]	803 (773)	793 (773)	291	295	続伸
東京 [中]	812 (765)	800 (737)	669	850	大幅続伸
横浜 [中]	773 (756)	751 (727)	608	609	続伸
山梨 [地]	793 (-)	771 (-)	108	62	品薄高
浜松 [地]	- (-)	- (-)	-	-	競り休止
名古屋 [中]	738 (749)	702 (704)	867	187	弱もちあい
京都 [中]	735 (680)	706 (679)	111	99	もちあい
大阪 [中]	718 (717)	700 (694)	105	30	もちあい
神戸 [中]	768 (-)	767 (-)	-	140	-
岡山 [地]	681 (703)	668 (680)	260	238	弱気配
広島 [中]	693 (-)	662 (-)	170	100	もちあい
福岡 [中]	731 (702)	704 (661)	467	84	続伸

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 5月27日～6月2日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,820,177 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,151	1,228	1,275	1,228	84,410
うで	788	852	886	845	140,140
ロース	1,056	1,156	1,177	1,130	215,030
ばら	1,185	1,234	1,270	1,234	176,294
もも	815	842	882	839	217,339
ヒレ	1,091	1,205	1,232	1,190	13,277
セット	1,014	1,063	1,081	1,059	973,687

◇近畿圏 総重量 768,586 kg

	第1四分位値	重量中央値	第3四分位値	刈込み平均値	取引重量
肩ロース	1,217	1,296	1,363	1,294	60,729
うで	778	799	827	806	129,263
ロース	1,069	1,188	1,264	1,173	94,149
ばら	1,226	1,306	1,321	1,287	140,370
もも	767	809	864	815	186,315
ヒレ	1,240	1,350	1,382	1,327	12,528
セット	974	1,042	1,113	1,050	145,232

[食鳥正肉日経相場] 6月2日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (8社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	732	827	1,029	204
ムネ	436	495	665	199

◇大阪 (2社)

	安値	加重平均	高値	販売量 (t)
モモ	778	843	1,030	3
ムネ	451	505	590	2

[農水省統計情報部食鳥市況] 6月2日
kg当たり円、税抜き

	モモ肉	ムネ肉	手羽ト	手羽キ	ササミ
高値	1,117	728	550	600	650
安値	800	475	290	360	350
平均	858	525	-	-	-

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日期間中（1週間分）に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ（単価・重量）を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値（加重平均値）。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

業界動向がデータでわかる 数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

畜産・食肉業界の動向大全 日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 500頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

銘柄牛肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

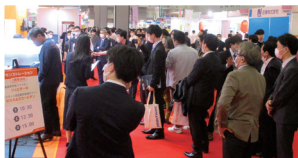
銘柄豚肉 ガイドブック

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

国内で唯一、 最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランケット判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、A4判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャンネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総菜の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

あなたの常識を強固にする 今さら聞けない肉の常識

平野正男著
鏡 晃

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

知識を豊かにする

食肉用語事典(新改訂版)

昭和51年の初版から平成22年の新改訂版へと続く、定評のエンサイクロペディア。新訂正版は3,000語を採録。

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

◆~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

牛枝肉・牛部分肉の見方 牛肉の見方を簡単図解

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションリー

食肉手帳 DIARY

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510

■東京 〒101-0021 東京都千代田区外神田2-14-10

TEL 03(6206)0929 FAX 03(6206)0928

※東京事務所は2025年2月10日より上記の新住所に移転しました。電話・FAX番号も変更となりましたので、宜しくお願致します。

■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995